

アジア土木学協会連合協議会(ACECC) ACECC賞の紹介

土木学会 ACECC 担当委員会

ACECCおよび CECARとは

アジア土木学協会連合協議会 (Asian Civil Engineering Coordinating Council: ACECC) は、アジア域内の持続可能な社会資本の整備と発展を目的として、域内の土木関連学協会が協力して学術・技術面の活動を促進するべく、1999年9月に発足した組織である。現在加盟国は、日本、アメリカ、フィリピン、台湾、韓国、オーストラリア、ベトナム、モンゴル、インド、インドネシア、バングラデシュ、パキスタンの12ヶ国となっている。土木学会は ACECC 発足当時からメンバーであり、ACECCの活動において常に中心的な役割を果たしている。

ACECCの主要な活動の一つにアジア土木技術国際会議 (Civil

Engineering Conference in Asian Region: CECAR) の開催が挙げられる。CECARは3年に一度開催され、アジア地域の社会資本整備のあり方や今後の土木技術の研究開発の必要性等、諸問題に関する情報交換を促進し、多国間が連携してアジアの発展に結び付けるための議論の場として期待されている。テーマは、土木という切り口の下で社会インフラが関与する分野全般であり、分野横断的な議論が重要視されている。そのため、学術面だけでなく産業界や官界からの主要メンバーを含めて、産官学全体でアジア域内の持続可能な社会資本のあり方を議論することや、ACECCメンバーの学協会長が一同に会し、学協会トップが直々に今後の持続可能な社会資本のあり方を議論することなど、ユニークな特徴を有している国際会議といえる。

CECARのこれまでの開催実績は表1の通りであり、次回第7回は2016年8月30日から9月2日にかけて、米国ハワイにて開催される。

ACECC賞とは

ACECCでは、3年に一度、アジア域内の技術の発展に貢献のあったプロジェクトと個人に対し ACECC賞を授与している。ACECC賞は、各国からの候補(プロジェクト1件、個人1名)の中から、ACECC企画委員会の中に設けられた ACECC賞小委員会で選定され、ACECCの最高決定機関である理事会(ECM)で承認される。表彰式は CECARの正式行事として開催される。

ACECC賞は、プロジェクト賞と功績賞からなる。プロジェクト賞 (ACECC Civil Engineering Project Award) は、過去3年の間に実施されたプロジェクトで、土木技術の進歩とアジアの発展に顕著な貢献のあったプロジェクトに与えられる。選定に際しては、申請書類に基づき、①土木技術の進歩への貢献、②プロジェクトが実施された国への貢献、③その他アジ

表1 CECAR開催実績

回	開催時期	開催地	テーマ	参加人数
第1回	1998.2.19~20	フィリピン・マニラ	Asian Infrastructure, Sustainable Development and Project Management	約700名
第2回	2001.4.16~17	日本・東京	Sustainable Development in the 21st Century	約730名
第3回	2004.8.18~20	韓国・ソウル	Moving Asia into the Future	1000名以上
第4回	2007.6.25~28	台湾・台北	Working for Asian Sustainability	1000名以上
第5回	2010.8.8~12	オーストラリア・シドニー	Innovative Community Building	約600名
第6回	2013.8.20~22	インドネシア・ジャカルタ	Embracing the Future through Sustainability	約650名

ア諸国への展開・波及性などについて審査される。各国の投票により、上位5件にプロジェクト賞が、最上位1件に最優秀賞 (ACECC Outstanding Civil Engineering Project Award) が授与される。2010年より実施) が授与される。功績賞 (ACECC Civil Engineering

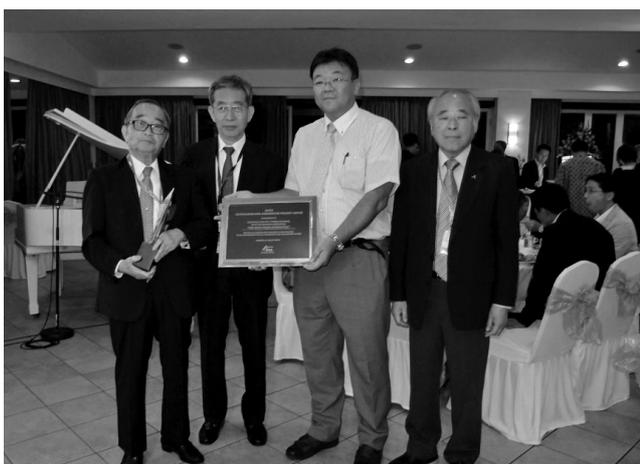


写真1 6th CECARでの受賞者(左:岡田宏氏、右から2人目:NEXCO
中日本・大川氏)

Achievement Award)は、ACCCECメンバーの中で、国際的な土木技術の進歩またはアジアの社会資本の発展に顕著な貢献のあった個人で、その業績がその地域において認められている個人に与えられる。選定に際しては、申請書類に基づき、①土木技術の進歩への貢献、②国際協力・支援への貢献、③アジアへの貢献などについて審査される。各国の投票により、上位3名に功績賞が授与される。

過去の3回のCECARにおいて、

- 日本はACCCEC賞を連続して受賞している。日本からの受賞は以下に示す通りである。ちなみにCECAR5での最優秀プロジェクト賞は、台湾の台湾新幹線建設プロジェクトが、CECAR6での最優秀プロジェクト賞は、韓国の四つの河川における防災・環境復旧プロジェクトが、日本の新東名高速道路プロジェクトと並んで受賞している。
- CECAR4(2007)
 - ・プロジェクト賞:新潟県中越地震からの復旧事業(JR東日本(株)、NEXCO東日本(株))
 - ・功績賞:西野文雄氏(東京大学名誉教授)
 - CECAR5(2010)
 - ・プロジェクト賞:バリビーチ海岸保全プロジェクト(日本工営(株))
 - ・功績賞:中村英夫氏(東京都市大学学長、東京大学名誉教授)
 - CECAR6(2013)
 - ・プロジェクト賞(最優秀賞):新東名高速道路の建設(NEXCO中日本(株))
 - ・功績賞:岡田宏氏(一社)海外

鉄道技術協力協会最高顧問)

CECAR7へ向けてのスケジュール

次回CECAR7は前述の通り、2016年8月30日から9月2日にかけて、米国ハワイにて開催される。論文発表ならびにACCCEC賞のおまかなスケジュールは次のとおりである。各位のプロジェクト賞、功績賞への積極的な応募をお願いしたい。

○論文発表

アブストラクト提出:

2015年4月6日~10月23日

最終原稿提出締切:

2016年3月7日

○ACCCEC賞

日本国内の応募申請:

2015年4月~7月末

ACCCECへの応募申請締切:

2015年11月末

CECAR7での表彰式:

2016年8月